

ポストテンション方式の「定着」

コンクリートにプレストレスを与えるためには、引っ張られたPC鋼材がずれたり緩んだりしないように、コンクリートにしっかりと固定する必要があります。この方法を「定着」といいます。

ポストテンション方式の定着は、定着装置(定着具)を使って行います。PC鋼材の種類に応じてさまざまなものが利用されていますが、定着の方法そのものは、大きくクサビ方式とネジ方式があり、必要な緊張力や施工方法などによって使い分けられています。

● クサビ方式

緊張を与えたPC鋼材に、いくつかに分離したクサビを外から定着具(定着具そのものもクサビ

を止められる形状になっています)に差し込み、緊張力を緩めます。するとクサビがPC鋼材とともに定着具にめり込み、PC鋼材が固定されます。するとPC鋼材の緊張力がコンクリート部材に圧縮力として伝わり、プレストレスが与えられます(図1)。

● ネジ方式

一般家庭で使うボルトとナットと同じ理屈で定着させるのがネジ方式です。太い鋼材にネジを切り、その鋼材に緊張を与えたあとにナットを回して止めることによってプレストレスを与える方法です(図2)。

図1 クサビ方式

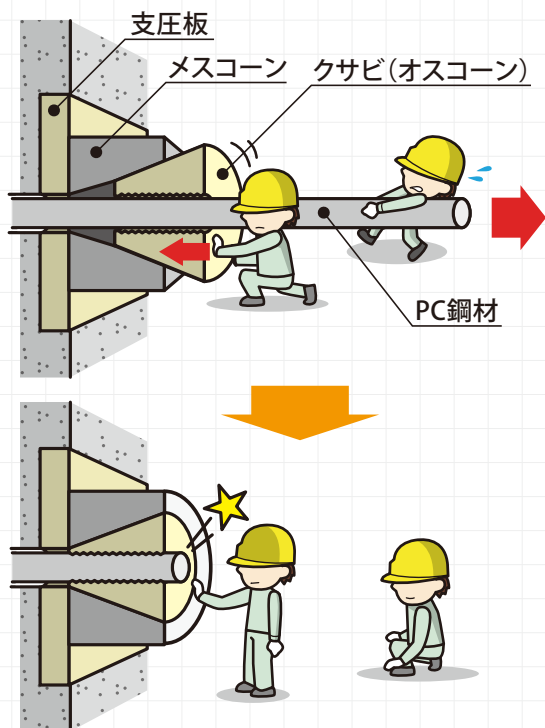


図2 ネジ方式

